

行歯会だより -第58号-

(行歯会＝全国行政歯科技術職連絡会) 2010年9月号

NEWS

日歯大久保会長、行歯会岩瀬会長と大いに語る

去る平成22年8月27日、当会岩瀬会長（以下、岩瀬）が日本歯科医師会大久保会長（以下大久保）と面会するため日本歯科医師会館を訪れました。わずかな時間ではありましたが、岩瀬会長の質問に大久保会長が答える形で座談を行ないましたので、その様子を報告します。

(事務担当理事 静岡県 中村宗達)

■日本の歯科界は

岩瀬 日歯会長として、日本の歯科をどのような方向に導かれようとされているのですか？

大久保 (西方浄土らしき方角？を指差し)
あっち.. (笑)

岩瀬 も、もう少しわかりやすく具体的にお願いします。

大久保 今、超高齢社会となり、どれだけ健康寿命を平均寿命に近づけるかを考えています。このために、歯科界は大きな貢献ができると思っています。元気な高齢者をたくさんつくる国民運動を起こしたいものです。

ともすると高齢者は迷惑の種だと受け取られかねない言動に接することが、最近になって何度もありました。(怒りをあらわにして)とん



でもない話です。私たち医療人は、これらのお年寄りを幸せに生活できるように支えていかなければならないのです。

岩瀬 私もそう遠くない将来、高齢者の仲間入りです。有難い話です。年をとっても心配のいらぬ社会を、是非いっしょに作りましょう！

■歯科衛生士について

岩瀬 次に私たちの会のメンバーの多数を占めている歯科衛生士について..

大久保 歯科衛生士はこれからの予防社会を支えていく重要な職種です。今は、たくさんの職種の人たちが共生しているという世の中です。多職種と連携していくために、まず何が必要かという、自分たち職種の領域をはっきりとさせるということです。「自分たちに何ができるか」ということを表現できなければ、どうして他の職種の人たちに歯科衛生士とその力を理解させることができるのでしょうか。

岩瀬 セクト主義とも受け取られませんか..

大久保 何も自分たちのテリトリーを作って、縄張り争いをしろといっているわけではありません。各々専門家が担う役割がある。連携とは、それを超えてどうつながるかです。そのためには自らの役割の境界をあらわす線が必要不可欠です。

そして、そこに生まれる緊張感が今後一層の歯科衛生士の発展につながると考えています。緊張感が大切です。

岩瀬 私も緊張しています。良い話合いになるものと思います。

■歯科保健法について

岩瀬 さて、最近、都道府県では歯科条例がつつぎつつぎに生まれてきています。国においても歯科保健法ができるのでしょうか。

大久保 (いつにない真剣な顔つきで) 歯科

保健法を作るつもりでがんばっています。政治日程を考えると困難なことは承知していますが..

岩瀬 一筋縄ではいかない..

大久保 日本医師会にも協力してもらうように話をしています。

岩瀬 そうですか、期待しております。

■厚労省について

岩瀬 次に、私たちの上部機関は厚労省ですが、日歯にとって厚労省は厄介者ですか、あるいは、それに限りなく近いのですか？

大久保 いえいえ、厚労省も私たち日歯も、目指しているところは同じです。国の歯科官僚は優秀なテクノクラートであり ヴューロー(* # ± \$? ・ ☆)です。私たち日本歯科医師会会員は現場のプロであり、厚労省と我々が各々の役割のもと協働することで良い仕事ができると思っています。

岩瀬 厚労省は保険点数のコントロールを行なう事務処理機関ということで、日歯としてはいやなところを握られているではありませんか。

大久保 (平然と) そんなことはありません。最終的には点数という具体的なもので出てくるわけで、もちろん、この影響力は大きい。ですが、この最終産物が産まれるまでには様々な過程があり、今、これが大きく変わってきています。変えてきています。根底には社会保障をどう考えるかという部分があり、私たちは日本歯科医師会としての考えを提示してきているのです。

岩瀬 行歯会は地方行政で働く歯科医師、

歯科衛生士で成り立っています。
すなわち、地方の日歯会員と常日頃お付き合いしているわけですが、地元の先生方は保険点数に引き付けられる気持ちは強く、地域歯科保健への気持ちは弱い..

大久保 当然、生業をないがしろにはできません。でも、昔よりはよっぽど良くなったのではないですか。考え方が変わってきた。保健が保険(医療)にも結びつく..

岩瀬 そうですね。

■行歯会について

大久保 ところで、行歯会はどううまくいっていますか。

岩瀬 ありがとうございます。メールという利器はなかなかのものです。“私たちは、日本国民に世界最高水準の歯科保健(口腔環境)を提供することをめざします。”をモットーとしています。少し大風呂敷ととられるかもしれませんが、(大久保会長をやや上目づかいで見なが

ら)先生もそうじゃないですか..
大久保 え、えへん。大きい夢を持つことはいいことです。個人ではなく組織で行動するということは、自分の状態を周囲にさらけ出すことにより、自分を見直すチャンスができるということです。自分に自分を見せてくれる、考えさせてくれるのです。

行歯会のみなさんには、地域の日歯の先生方々といっしょになって、良い仕事をしていただきたいと思います。ぜひ、志をもった、立派な行政技術職となってください。

岩瀬 今日はお忙しいところ、ありがとうございました。

大久保 いいえ、どういたしまして。(チラッとこちらをみながら)今日の話がどんな風に行歯会だよりに載るのか、不安が残りますが..

岩瀬 そうですね。同感です。
(2人そろって心配そうな顔つき)

夏ゼミ報告！今年は浜松で開催されました

「第28回地域歯科保健研究会(夏ゼミ)開催報告」

第28回地域歯科保健研究会事務局長 坂本友紀

このたび、事務局長を務めさせていただきました浜松市健康増進課口腔保健医療センターの坂本です。夏ゼミの開催報告を述べさせていただきます。私は、平成15年(岡山)に参加して以来、夏ゼミにはご無沙汰しており(平成18年の藤沢で、厚生労働省の役人として15分ほど話をさせていただきました)、実に、久しぶりの夏ゼミでした。このたびの夏ゼミでは、たくさんのことを学ばせていただきました。まずは、参加された皆様にお礼申し上げます。夏ゼミ浜松の一端を行歯会の皆様にご紹介することで、研究会の様子がより多くの方々に伝わり、来年度の参加に結びつけば幸いです。

1. 概要

第28回地域歯科保健研究会は、平成22年7月31日（土）～8月1日（日）に浜松市中区旭町の静岡新聞ホールで、「みんなで新しい保健事業を創ろう」をテーマに開催され、137名の方が参加されました。グループワークは、岡山市、静岡市、浜松市で現在実施している歯科保健事業について、昨今の流行である事業仕分けの手法を用いてその必要性や効果を検討し、その結果を踏まえて、住民にとって必要な歯科保健事業を新規提案するという内容で行いました。また、今回の新しい試みとして「行列のできる夏ゼミ相談所」と題し、参加者から「あの先生に相談したい」という事案を集め、事案ごとに相談会をするという企画をしました。



図1: 歯科保健課岩田さんの講演



図2: 大久保会長の講演



図3: 挨拶する上條課長

話題提供講演では、厚生労働省医政局歯科保健課の岩田さんによる「在宅患者の歯科連携について」(図1)と、社団法人日本歯科医師会会長の大久保さんによる「歯科医師会から地域歯科保健に期待すること」(図2)と、という講演がなされました。岩田さんの講演の前には、7月30日付で厚生労働省医政局歯科保健課長に就任した上條さんが挨拶をされる(図3)というサプライズがあり、日本の歯科界を代表するお二方が会するという、夏ゼミ史上初の顔合わせがみられました。

2. テーマ選定について

平成21年秋に行われた政府の事業仕分けにおいて、「8020推進特別事業(補助率:10/10)」が俎上に上がり、見直しという結果になりました。仕分け人からは厚生労働省も各都道府県も漫然と事業をしているように見えたのではないのでしょうか。

国庫補助の基本的な考え方は、おそらく「新しい考え方や制度が定着するまでの期間、補助をする。」ということであり、長期的に見ると多くの補助金は減額されていく傾向にあります。また、事業に必要性がな

いと判断されれば、当然のように廃止となります。これまでは、担当課と財務省との駆け引きで予算案を作ってきたわけですが、昨秋の事業仕分けでは別の観点から評価したということになります。

さて、各自治体で様々な歯科保健事業が実施されています。それらの事業は、毎年、どのような評価を受けているのでしょうか。もちろん、自治体の計画に沿っているか、必要性や費用対効果はどうかなどの観点で事業評価がされていると思います。しかし、

事業を実施する必然性を自治体職員や歯科保健関係者等だけでなく、一般の方々が納得できるように説明しきれのでしょうか。今回の夏ゼミは、その疑問から出発し、事業仕分けという観点で評価すること、住民にとって本当に必要な事業とはなにかを考え、それを考えるトレーニングをすることを目標としました。

3. グループワーク・その他

(1) 事業仕分け

事業仕分けでは、説明者（行政担当者）が事業内容を説明し、仕分け人は資料と説明内容をもとに質疑を行って事業の存続を判定します。今回の夏ゼミでは、現に実施している事業（岡山市2、静岡市2、浜松市4）を例題として各班に一つずつ割り振りました。各班が事業の担当課であると仮定して、事業仕分けを受けるという想定です。1日目の午前中に、事業の内容を把握し事業仕分けに対する想定問答を作成する

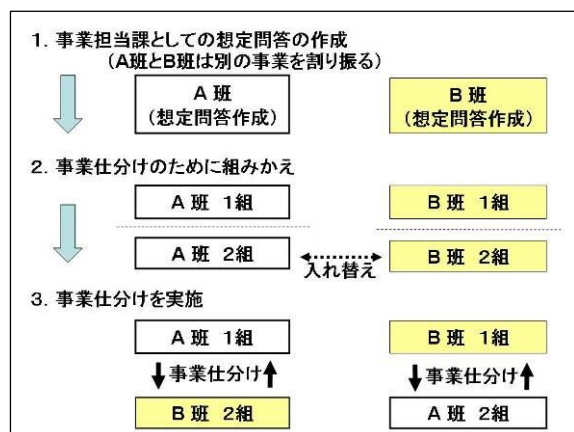


図4: グループワーク(事業仕分けのイメージ)

という作業を行いました。昼食をはさんで、夏ゼミ劇場で事業仕分けのデモを行い、その後、各班で事業仕分けを行いました。

グループワークでの事業仕分けは、各班を1組と2組の二つにわけ、2組が他の班と入れ替わりました（図4、図5）。1組が説明者役となり、2組が仕分け人役となって事業仕分けを行う前半と、攻守交替して2組が説明者役となり1組が仕分け人役となる後半とで実施しました。入れ替わった班は、お互いに相手の事業内容を知りませんので、仕分け人役となった組は様々な質問をし、白熱した質疑応答が繰り広げられました。事業仕分けの結果は様々で、なかには1組は「継続」という判定であったものの2組は「事業廃止」となった班がでたりといった状況でした。参加者の方々には、事業内容の説明と質疑応答の重要性を体験していただけたものと存じます。



図5: 事業仕分けの様子 (K班 vs H班)

(2) 新規事業の企画

事業仕分けの結果を考慮して、「その自治体にとって、今、まさに求められている事業とはなにか」という検討を各班で行いま

した。各班に割り当てられた事業を実施する自治体の基礎的データ（人口、地勢、職員数等）や、各種計画（健康○○21や、

保健医療福祉計画等）と現在の健康指標を基に、自治体の計画に沿った方向性を踏まえての新規事業立案です。自治体によって職員数や既存の事業予算も様々ですから、班ごとに割り振られた自治体の長所や短所といったものを整理して、実現可能な範囲での提案が発表されました（図6、図7）。これらの新規提案については、今後の歯科



図6：発表を前に入念な打ち合わせをする各班

保健事業を企画するために参考とさせていただきそうなものも多々あり、参加者の皆様のアイデアに敬服するところでございます。今回の夏ゼミの報告書は、既に刷り上がりましたので、参加者の皆様には近日中にお手元に届くと思いますので、ぜひご活用ください。



図7：発表では体操付きの班も(L班)

4. 稿を終えるにあたって

第28回夏ゼミでは、夏ゼミの原点に戻れないかということも課題のひとつでした。私どもでは、昨今のワークショップでは、パソコンに入力する時間を確保するために参加者同士が討議する時間が十分に確保されているのかという疑問を持っておりました。そこで、パソコンを使用せず、自分たちの手でメモや成果物を作成することとしました。また、夏ゼミは「めだかの学校」ですので、立場に関わらず自由闊達に意見を交換することができるという良さがあります。そこで、今回はその良さをさらに徹底するべく、名簿にはあえて職種や役職を掲載せず、なるべく先入観が少なくなるよ

うに配慮しました。その他、運営面では少しでも低廉な参加費となるようにして、より多くの方々が参加できるように配慮したつもりでございます。今回の試みが、どのように評価されるかは現時点では未知数ですが、来年度に開催される方々におかれまして、もし、参考としていただける点がありましたら、私どもとしてはぜひとも協力させていただきたいと考えております。どうぞ、お声掛けください。末筆ではございますが、地域歯科保健研究会の発展と、全国各地の歯科保健関係者の方々のさらなるご活躍を祈るところでございます。



全国からご注文
いただいています。
す。

「パタカ」自動測定器「健口くん」に ハンディタイプが登場しました！

※詳しくは次号の「行歯会だより」で報告します。

「健口くんハンディ」  定価 33,600 円（税込み）	<table border="1"> <tr> <td>測定</td><td>●オーラルディアドコキネシス（5秒）</td></tr> <tr> <td>寸法</td><td>約 63（W）×140（D）×31（H）mm</td></tr> <tr> <td>質量</td><td>約 150 g</td></tr> <tr> <td>情報</td><td>健口くんハンディの詳細はこちらから http://goods.niigata-dhs.com/?eid=3</td></tr> </table>	測定	●オーラルディアドコキネシス（5秒）	寸法	約 63（W）×140（D）×31（H）mm	質量	約 150 g	情報	健口くんハンディの詳細はこちらから http://goods.niigata-dhs.com/?eid=3
測定	●オーラルディアドコキネシス（5秒）								
寸法	約 63（W）×140（D）×31（H）mm								
質量	約 150 g								
情報	健口くんハンディの詳細はこちらから http://goods.niigata-dhs.com/?eid=3								

●〇〇資料の請求先〇〇●

（財）新潟県歯科保健協会

〒950-0982 新潟市中央区堀之内南 3-8-13

TEL：025-283-0525 FAX：025-283-4746

E-mail ndhs@plum.ocn.ne.jp HP <http://niigata-dhs.com/>

10 月に入りめっきり涼しくなりました。「のど元過ぎれば熱さ（暑さ）忘れる」のとおり、今年の夏の猛暑も記憶の中から過ぎ去りつつあります。人はこうして苦しかったことを記憶のかなたに消し去り、日々を過ごしていくのですね。何とか9月号を発行できました。しかし、すぐに10月号がやってきます…⑩

